

当初施設 排気第 3 - 3 系統のベンゼン濃度上昇について

当初施設の第 3 - 3 系統は液処理工程の溶剤回収塔等からの排気で、排気処理フローは概略図のとおりオイルスクラバ⇒ベンゼン回収装置⇒活性炭槽で構成されている。

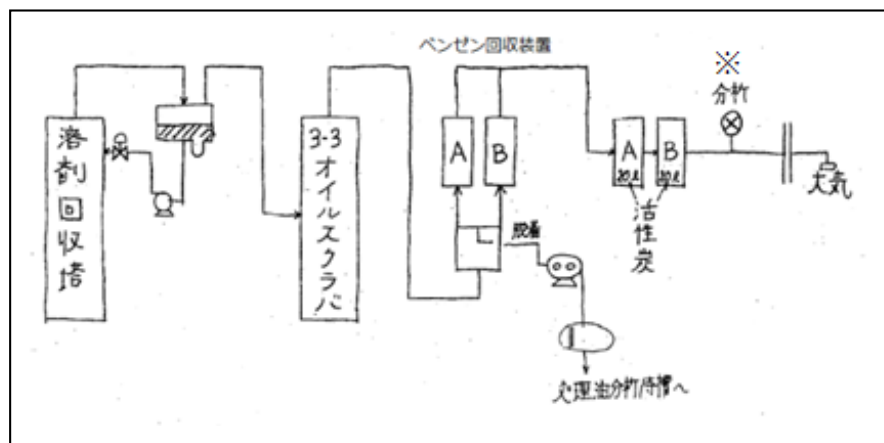
5 月 2 3 日測定した排気中のベンゼン濃度（測定箇所※）が 9.5mg/Nm³（排出管理目標値 50 mg/Nm³ 以下）との連絡が分析会社からあり、目標値の 1/10 を超えていることから北海道・室蘭市に報告した。

なお、P C B 濃度は 0.00000026mg/Nm³（排出管理目標値 0.01 以下）で異常はない。

原因についてメーカーと協議の結果、排気中の P C B 濃度は良好なことから、スクラバ油の節約を目的として本年 4 月 1 日から 5 月 7 日までオイルスクラバのブローダウン（連続的に新油を供給して入れ替える操作）を停止し運転を行ったことが原因と推定された。

そのため、オイルスクラバ油を新油に交換し、また念のためベンゼン回収装置、活性炭の交換を行い、それ以後 0.1mg/Nm³ 未満と正常状態に復旧した。

今後も 4 半期ごとに活性炭出口濃度の測定を継続し、ベンゼン濃度等の上昇がないことを確認してまいります。



排気第 3 - 3 系統 概略図